

CleanUp. exe

マニュアル

目次

1 概要.....	2
1.1 構成および環境.....	2
1.2 使用許諾条件.....	2
2 インストール.....	3
2.1 アンインストール.....	3
3 使い方.....	4
3.1 削除前のフォルダ.....	4
3.2 操作画面.....	4
3.3 削除後のフォルダ.....	5
4 備考.....	6
4.1 削除するファイルについて.....	6
4.2 ネットワークドライブについて.....	6
4.3 パス名について.....	6
5 連絡先.....	7

1 概要

CleanUp. exe は、フォルダ内の不要ファイルをゴミ箱に送るツールです。開発環境でプログラムを作成していると、様々な中間ファイルが出力されます。これらの中間ファイルを一括してゴミ箱に送ります。

通常、開発環境でクリーンを行うと実行ファイルや DLL まで削除されてしまうので、このようなツールを作成しました。操作方法は、アイコンまたはアプリケーションウィンドウにファイルをドラッグドロップするだけなので、非常にシンプルです。

このツールは元々 Delphi 6 で作成したものでしたが、最近ではパスカルベースの IDE として入手困難になってきたため、Lazarus (Ver1. 4) に移植しました。(ツールとしての実行環境はあくまで Windows です)

削除するファイルは特に設定できるようにはしてありませんが、ソースを書き換えてビルドしなおせば自由に変更できます。

1.1 構成および環境

プログラム名: CleanUp. exe

使用可能な OS: Windows XP (SP3) ~ Windows 8

1.2 使用許諾条件

- 本ソフトの複製・再配布について

特に制限はありません。

- 損害・および保証について

本ソフトを使用したことによる一切の損害(一次的、二次的に関わらず)に対し、弊社では責任を負いません。

- リバースエンジニアリング及び、改変について

特に制限はありません。

2 インストール

アプリケーション登録の必要ありません。以下のファイルを任意のフォルダにコピーしてください。

CleanUp. exe	実行ファイル本体
---------------------	----------

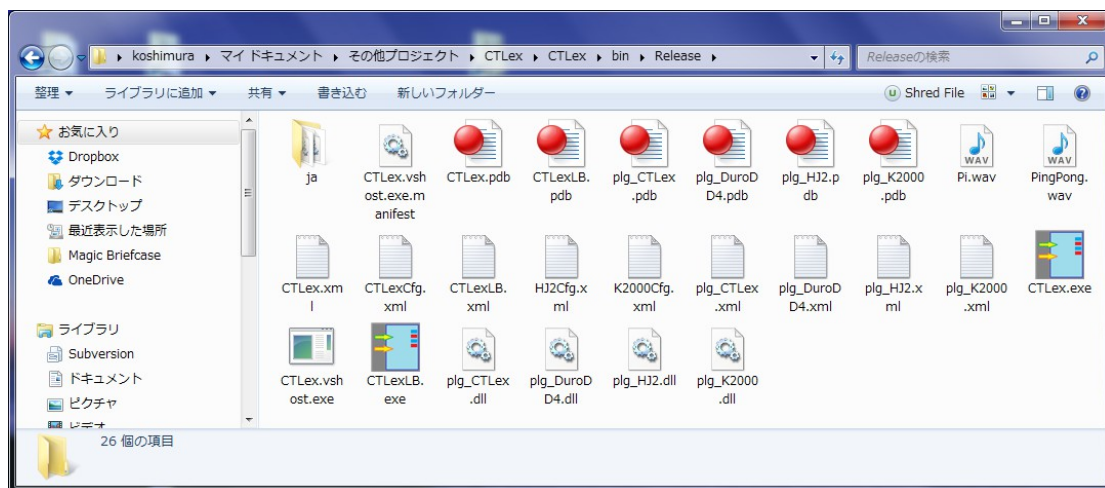
2.1 アンインストール

アンインストールは、フォルダごと削除するだけです。（レジストリには情報を残しません。）

3 使い方

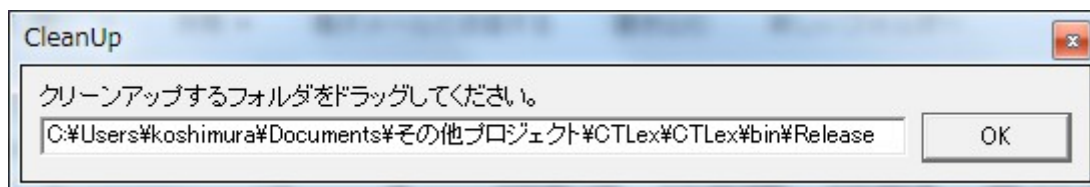
3.1 削除前のフォルダ

削除前の VB2010 の出力先フォルダの状態です。

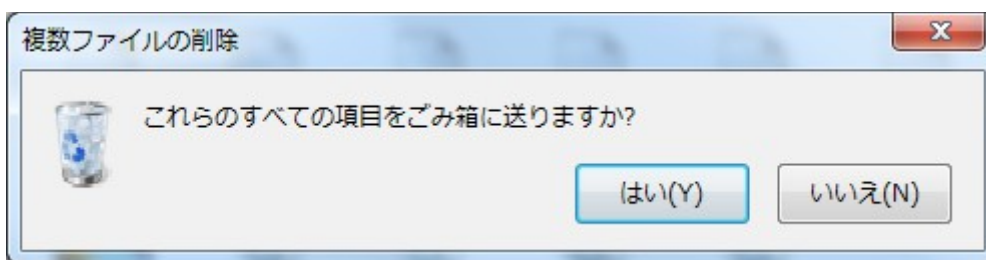


3.2 操作画面

削除したいフォルダにあるファイル(残したいファイルでもかまいません)を **CleanUp.exe** のアプリケーション(またはショートカットアイコン)か、**CleanUp.exe** の実行画面にドラッグドロップしてください。



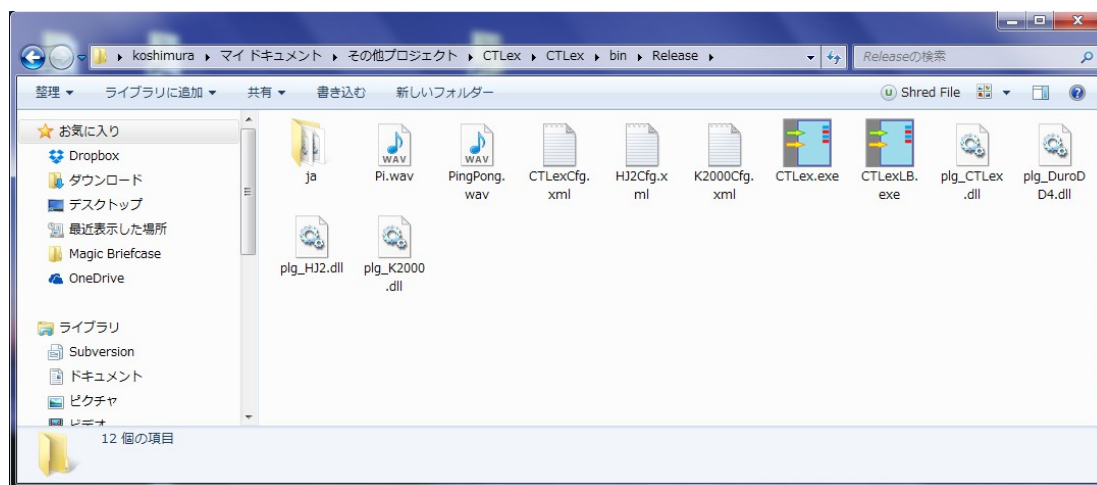
フォルダ名を確認して、**OK** ボタンをクリックしてください。



再度確認のメッセージがでます。 ”はい”をクリックするとゴミ箱に不要ファイルを送ります。

3.3 削除後のフォルダ

削除後のフォルダの一覧です。（削除外の.XML ファイルを残しています）

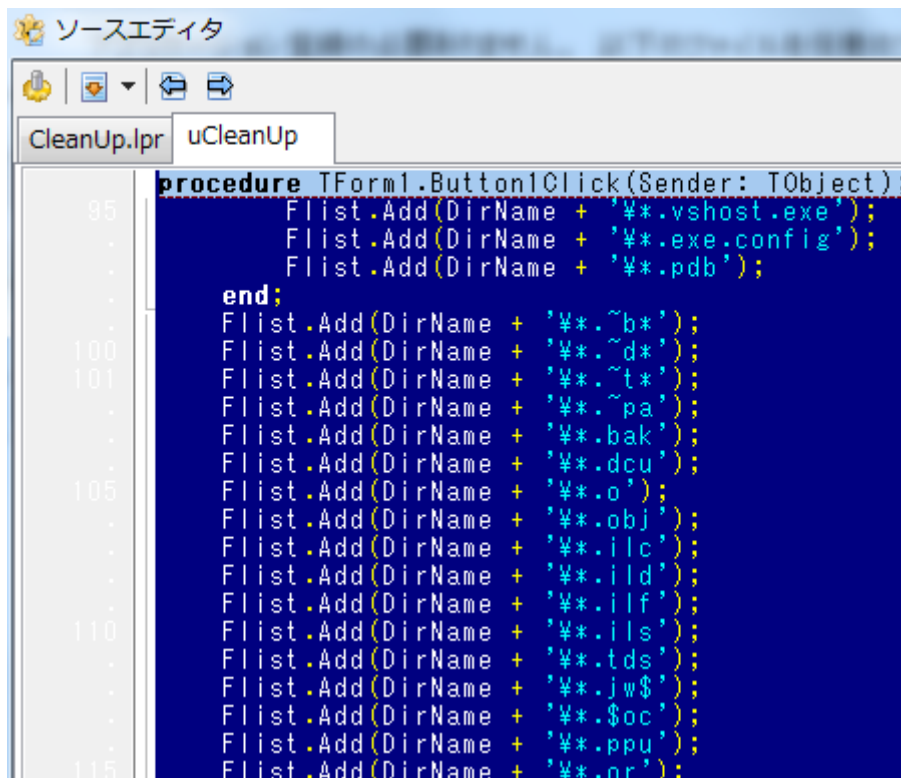


4 備考

4.1 削除するファイルについて

デフォルトの実行ファイルでは、あなたに必要なファイルまで削除するかもしれません。なにが削除されるのか確認してください。問題がある場合は、ソースを変更してビルドしてください。

削除リスト作成部分のソース



```
ソースエディタ
CleanUp.lpr  uCleanUp

procedure TForm1.Button1Click(Sender: TObject);
95   FList.Add(DirName + '*.vshost.exe');
   FList.Add(DirName + '*.exe.config');
   FList.Add(DirName + '*.pdb');
   end;
   FList.Add(DirName + '*.~b*');
100  FList.Add(DirName + '*.~d*');
101  FList.Add(DirName + '*.~t*');
   FList.Add(DirName + '*.~pa*');
   FList.Add(DirName + '*.bak');
   FList.Add(DirName + '*.dcu');
105  FList.Add(DirName + '*.o');
   FList.Add(DirName + '*.obj');
   FList.Add(DirName + '*.ilc');
   FList.Add(DirName + '*.ild');
   FList.Add(DirName + '*.ilf');
110  FList.Add(DirName + '*.ils');
   FList.Add(DirName + '*.tds');
   FList.Add(DirName + '*.jw$');
   FList.Add(DirName + '*.$.oc');
   FList.Add(DirName + '*.ppu');
115  FList.Add(DirName + '*.pr');
```

4.2 ネットワークドライブについて

ネットワークドライブのファイルは、ゴミ箱に送られずそのまま削除されますので注意してください。

4.3 パス名について

Lazarus のマルチバイト処理により、一部の文字を含んだパスで動作しない可能性があります。

(ほとんどの日本語を含むパス名は通ると思いますが・・・)

5 連絡先

製品についてのお問い合わせは、メールまたはホームページの「お問い合わせ」をご利用ください。

MAIL: office@rmks.jp

ホームページ: <http://www.rmks.jp/>

会社名: 株式会社アール・エム計測器

住所:

〒920-0953

石川県 金沢市 涌波 4-15-18